

## イスラム世界と日本の掛け橋 2

## 東京ジャーミイ・トルコ文化センター



東京に暮らすムスリムの祈りの場として長く親しまれてきた東京回教寺院(1938年～1984年)を引き継ぎ、2000年6月におよそ2年間の歳月をかけて完成した東京ジャーミイ。その建築にあたっては水とセメントと鉄筋以外のすべての資材と、さらには100人近い建築・芸術職人がトルコ本土から送られたという。

東京ジャーミイは日本在住ムスリムの礼拝および情報交換の場所というモスクとしての役割はもちろんだが、本国から遠く離れた日本でオスマントルコ王朝時代の伝統的建築物を間近に見ることができる貴重な建造物でもある。ちなみにジャーミイとはトルコ語で「1日5回の礼拝が行われる大きい礼拝場」の意味。

東京のモスク、といえばまずはここを見学しなければということで、東京ジャーミイ・トルコ文化センターを訪問、代表のイマーム エンサーリー イエントルコさんにお話をうかがった。

——— とても美しい建物ですね。

東京ジャーミイは16世紀オスマントルコ時代の伝統的な特徴で建築された建物です。この建物の内部、ドームなどの特徴は中東の地域では見当たらないものです。礼拝所内部の装飾・伝

統的な模様やカリグラフィーはトルコの特徴です。こうしたジャーミイはイスタンブールやコニヤなど王朝あった場所に多数ありますが、小さなものはどの地域にもあります。東京ジャーミイの礼拝所は700人程の規模ですが、15世紀から16世紀に建築されたトルコのジャーミイには1万人くらい入れるところもあるんです。

——— トルコのイスラム教信仰の状況はいかがですか？

正式な数字ではありませんが、トルコ国民のおよそ95パーセントがイスラム教徒です。その中には合同礼拝に参加する人もいますし、1日5回の礼拝をしっかりと行っている人もます。

もっとも、コーランの解釈や実践の仕方は地域によっても異なります。トルコは政教分離の国ですから、信仰は個人の自由です。実践の細い部分についてはそれぞれが地域や自分のスタイルに合わせて信仰している状況と言えるでしょう。

——— 若者に宗教離れのようなものはありますか？

ここ30年は逆に若者がイスラム教に近づいてきており、その波は広がっています。

なぜかと言えば、人間の精神的・内面的な面



礼拝場。見上げると無限の宇宙をも連想させる美しいドーム。見渡せば美しく細かい装飾の数々に目を奪われる



多目的ホール。食事会や勉強会など交流の場として利用される

を支えるものとして宗教が重要だと思われるからです。人々がその人生で経験してきた結果として、現代社会のトラブルや問題を解決するために、イスラムの教えは重要だということに若い人たちはもちろん、親も気付いたということでしょう。

肉体が飲食を必要とするのと同じように、精神は信仰と心の拠り所となる偉大なるものの存在を必要としています。人間は自分の希望を叶えるため日々様々な道を探していますが、もしその道が見つからなかった時、それは心のトラブルとなり、日々大きく成長していくでしょう。



イマーム エンサーリー イェントルコさん（左）と通訳をしていただいた職員の方フセイン ドラコールさん

そうした時に頼れるのは宗教です。（トルコはもともとイスラムの国ですから）人々の身近にイスラムに関する本や資料が多数あり、いつでも手に取って読むことができる。その結果、今イスラムを信仰する人がまた増えてきているのではと思います。

————— メッセージをお願いできますか。

もし時間があれば、ぜひ東京ジャーミイに見学にいらしてください。イスラムに強い関心がある方や、新たに入信した方に対してはイスラム入門講座を月一回開催しています。また、否定肯定を抜きにした純粋かつ素直な気持ちでイスラムに関する本を読んだり、実際にムスリムの人がどんなことを考えているのかを調べてみることをお勧めします。

————— 本日はありがとうございました。

#### 東京ジャーミイ・トルコ文化センター

〒151-0065 東京都渋谷区大山町1-19

Tel 03-5790-0760 Fax 03-5790-7822

E-mail [tokyocami@hotmail.com](mailto:tokyocami@hotmail.com)

URL <http://www.tokyocamii.org/>

開館時間：（事務所）10：00～18：00

その他詳細はホームページでご確認下さい